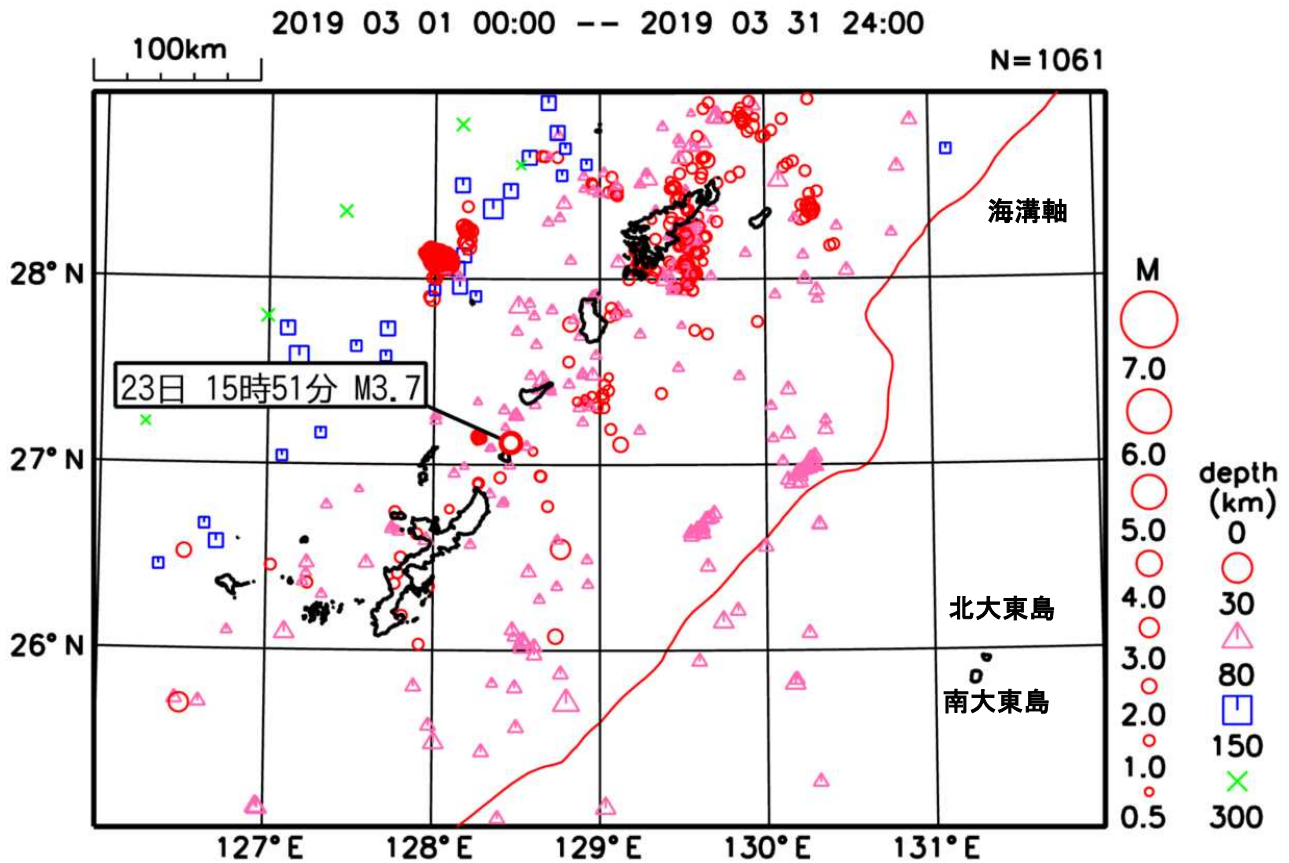


地震活動図

2019年（平成31年）3月

南大東島地方気象台

震央分布図



大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

[概況]

今期間に、大東島地方及び沖縄本島地方とその周辺(図の範囲内)で観測した地震は1061回（2月 695 回）で、このうちM4.0以上の地震は1回（2月 5回）でした。また、大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震は1回でした。今期間、目立った活動はありませんでした。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表（期間：2019年3月1日～31日）

震源時 各地の震度 (沖縄県内のみ記載)	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2019年03月23日15時51分	沖縄本島近海	27° 07.1' N	128° 27.8' E	16km	M3.7
沖縄県 震度 1：国頭村奥, 国頭村辺土名*, 伊平屋村役場*					

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

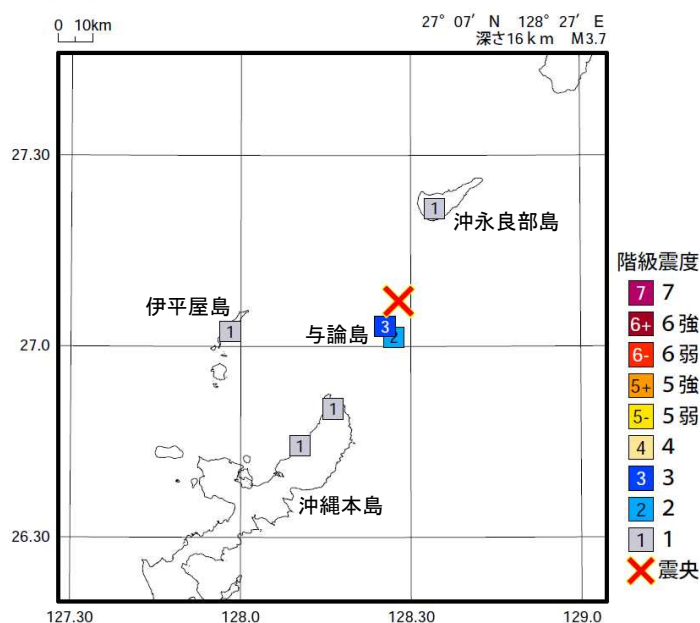
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

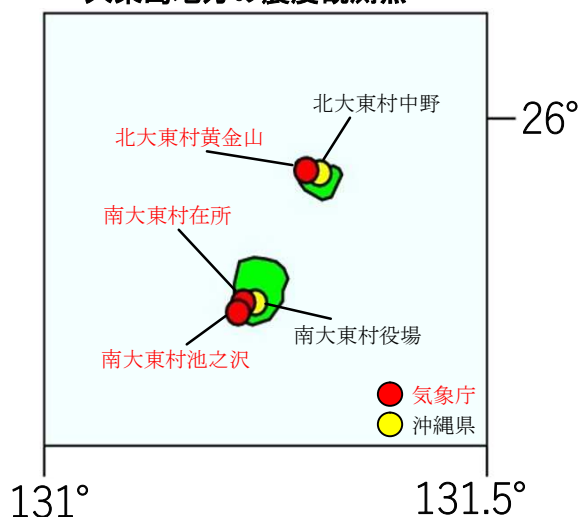
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

2019年3月23日15時51分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



大東島地方の震度観測点



本件に関するお問い合わせ先

（南大東島地方気象台）

電話 09802-2-2006

<https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

気象庁が発表する津波警報・注意報 ～津波から命を守るために～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、津波警報等を、津波予報区*単位で発表します。
津波警報等の種類、発表される津波の高さ、及び取るべき行動を以下の表に示します。

種類	発表される津波の高さ		取るべき行動
	数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<予想高さ≤10m)		
	5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	
津波注意報	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

津波警報・注意報と避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

※津波予報区：全国を66区域に分けており、沖縄県は3区域で沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方となっています。



地震・津波に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで
<https://www.jma-net.go.jp/okinawa/index.html>

